

2月の銅マーケットレポート及び3月の見通し (3)



橋本アルミ (株) 橋本健一郎

【住宅】

- 平成29年1月の住宅着工戸数は76,491戸で、前年同月比で12.8%増となった。また、季節調整済年率換算値では100.0万戸（前月比8.4%増）となった。
- 住宅着工の動向については、前年同月比で7ヶ月連続の増加となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家は減、貸家、分譲住宅は増となった。
- 引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある
(持家)
前年同月比では12か月ぶりの減少（前年同月比0.2%減、季節調整値の前月比では0.6%減）。
- (貸家)
前年同月比では15か月連続の増加（前年同月比12.0%増、季節調整値の前月比では9.8%増）。
- (分譲住宅)
前年同月比では2か月連続の増加（前年同月比27.3%増、季節調整値の前月比では18.0%増）。
- (分譲マンション)
前年同月比では2か月連続の増加（前年同月比56.2%増）。
- (分譲一戸建住宅)
前年同月比では15か月連続の増加(前年同月比4.9%増)。

【伸銅品生産】

- 伸銅品生産 前年比+5.3%の6万2569 t 9カ月連続増加
- | | | | |
|-----|----------|--------|----------|
| 内需 | 5万1765 t | +3.9% | 6カ月連続プラス |
| 輸出 | 1万804 t | +12.8% | 3カ月連続プラス |
| 銅条 | 1万9828 t | +8% | 9カ月連続プラス |
| 黄銅棒 | 1万4803 t | +3.7% | 9ヵ月連続プラス |

【電線】

- 前年比-0.8%の5万3700 t
- うち 国内 -1.7% 輸出が +62.6%
- 通信 -24.2%、電力 -6.5% 電気機械 -0.3% 自動車 +0.5%
- 建設電販-4.2% その他内需+22.1%

【輸出】

- 電気銅輸出が-40.1%の2万9315 t。
銅スクラップは+46.4%の1万6303 t。

【輸入】

- 電気銅が+47.7%の2471 t。
スクラップは+39.4%の1万1980 t。

【見通し】

- 自動車は生産が+3.8%。1月の国内販売台数が前年比+13.4%
生産が4カ月連続プラス、販売も5カ月連続プラス。
生産は1ヶタ増加だが販売が2ヶタ増加しており今後の

動向に注目

- 住宅着工の動向については、前年同月比で7ヶ月連続の増加となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家以外が増となった。今後も期待。
- 伸銅品 9カ月連続プラスの前年比+5.3%。
需要の多い銅条が、9カ月連続プラス。黄銅棒も9カ月連続プラス、輸出が3カ月連続プラス。
今後の回復に期待。
 - 電線 輸出が+62.6%と大幅増。
その他内需が+22.1%
全体として減少傾向。
 - 銅輸出は4月以降の値上がりへの警戒感から地金は減少 スクラップは決算要因による買い控えから増加
 - 銅輸入はここ最近の相場高を受けて増加 スクラップも円高による割安感から増加

【スクラップ需給予想】

- 流通在庫は昨年からのトランプフィーバーを受けて70-74万の間で高止まりしており問屋がある程度の在庫あり、さらに3月決算に向けての換金売りから問屋在庫は増えるのではないかと
- 需要面に関しては 住宅 自動車など生産販売は堅調だが3月決算のためメーカーは買わず？買わず？需給は緩むのではないかと

【価格・為替予想】

- 今月もトランプ米大統領の発言・政策と旧正月明けの中国の動向に左右される。
- トランプ米大統領に関しては、移民問題が一旦治まった事。先の議会演説で 驚くべき税再改革、1兆ドルのインフラ投資に言及しており経済にとってはプラス。ただし、国境税に関するコメント次第では急落の可能性も。
- 中国に関しては、新たな不動産規制を行うなど、当局の姿勢はどちらかというところ景気拡大というよりはバブルの抑え込みに軸を置いておりこちらは景気には冷や水。
- それらを踏まえた3月の銅価格は、トランプ米大統領の税制改革、1兆円のインフラ投資が進展し中国が景気対策を行った場合、1月一段高の6200ドルを予測。いずれかの場合は6000ドル。
- 下値はいずれの条件も達成できなかった場合1月後半安値の5800ドル。
- 為替は米トランプ大統領の上記政策の進展と為替への言及次第
それらを踏まえ予測は
上記政策が進展した場合ドル高円安が進むが為替への言及があれば大幅円高に振れる場合も場合あり高値は2月後半高値一段高の112円台(TTM)を予測。いずれも行われなかった場合現状の117円台を予測。
銅建値に関しては700-770円程度と予測している。